

京都府舞鶴市		●活動名 青葉中学校地域支援協議会				●関係する学校名 舞鶴市立青葉中学校	
協働活動開始年度	平成 24 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	19 学級	のべ児童・生徒数	530 人
活動区分	学校支援活動	—		地域人材育成			●体制図
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	1人		6人				
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	
	平成30年7月1日設置						
参考URL	http://aoba.maizuru.ed.jp						
●連絡先		舞鶴市教育委員会 学校教育課			☎ 0773-66-1031		

●活動の概要・経緯
平成24年に青葉中学校地域支援協議会として発足し、地域の自治会各組織、団体と連携しながら学校と地域の行事を協働して進めている。毎年、民生児童委員連絡協議会を中心に地域の方々にも呼びかけて会員を募集し、年2回の総会を開催して活動内容の確認や総括を踏まえた次年度の計画づくりを行い、日常的・継続的な活動を展開している。地域による様々な学校支援活動が行われるだけでなく、生徒も、部活動や委員会活動の一環として、あるいはボランティアとして地域の諸活動に参加するなど、郷土愛をはぐくむとともに、将来地域に根差していく人材として地域の活性化にも貢献しており、地域と学校が双方向の関係構築して地域に根差す子どもを育てる取組となっている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 青葉中学校地域支援協議会を中心に、地域の諸団体や民生児童委員連絡協議会などと連携し、子どもと地域のつながりを深め、ふるさとを愛する心をはぐくむことを目的に、「できるときにできることを」を合言葉に、次のような取組を展開している。
- ①年間を通して週2回実施する挨拶運動、学校行事への参加、園芸活動、教育環境整備活動、食育や平和学習の講話等の学習支援など、様々な教育活動支援。
 - ②「つつじ祭り」への清掃ボランティアやイメージパネル製作と展示、与保呂川クリーン活動、東舞鶴公園桜再生事業、ふれあいサンデー、敬老会行事での合唱披露、高齢者へ届けるクリスマスカードづくり等。
 - ③地域団体組織の旗の制作依頼を受け、美術部の生徒が原画作り。（令和元年度）
 - ④学校内に「地域支援ルーム」を開設し、昼間は地域に開放。地域の絆づくりの場として地域の会議等に活用する他、「認知症講座」「PC講座」に集われた高齢者の方と生徒が交流する機会を設定。

【実施に当たっての工夫】

学校にも地域にとってもウィンウィンの関係になることを念頭に、お互いが無理のないように計画することを心がけている。その調整役になるのが地域支援協議会の総括的な推進役である会長となっており、学校と綿密な連携を行っている。地域支援協議会のメンバーは地域の各団体組織の中でも活動しているため、協議会の総会などで発信した情報を各団体組織でも共有でき、学校の状況や生徒の実態を十分把握したうえで連携し、学校にとっても無理のない活動になっている。生徒会本部を中心に地域支援協議会や各地域の団体の代表の方々との懇談会を設定し、地域の方の中学生に対する思いやふるさとへの思いを聞くことで、生徒が活動の意義や目的を自分ごととして捉え、提案や取組が出来るようにしている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域の方々が学校教育を支援したり、地域の行事や活動に生徒が参加したりすることで、地域の方々が生徒の頑張る姿を間近で見ることができるようになり、学校と地域の距離感が近くなってきた。これにより、地域の方々の学校への関心も高まり、見守りや励ましの声を届けることにつながっている。また、生徒においては、地域の活動に参加することが恒例になり、地域との関わりを意識したり体験したりすることで、ふるさとへの愛着心や将来地域に根ざした活動を大切にしようとする心が芽生えている。常に見守られ、支援してもらっていると実感することで生徒の自己肯定感がはぐくまれ、学校全体の安定にもつながっている。この意識の高まりが「もっと地域に貢献したい。」という意欲となり、例えば近隣の幼稚園児との合同避難訓練の実施などへと発展している。

●その他

年間を通して週2回実施している地域支援協議会の挨拶運動に加え、平成30年度から舞鶴警察署等とも連携した「青葉隊」が組織され、校区の4小学校と合同で学期1回の「一斉挨拶運動」を展開している。



春に美しい秋にすく、り地域「むと」の「学清与校掃保が活呂一動川緒



けセ通勤「ジボ」の「挨拶運動」を使っ方々へ呼びか